


研修名	第2回 精神保健福祉実務者研修	
講師	講義：「強迫性障害の理解と支援」 講師：九州大学大学院医学研究院精神病態医学 診療准教授 中尾 智博 先生	
開催日時	平成30年12月14日（金） 18：30～20：30	
開催場所	北九州市総合保健福祉センター 2階講堂	
参加者数	90名 精神保健福祉業務に携わっている相談支援機関や医療機関の職員、行政職員 等 （看護師、保健師、精神保健福祉士、臨床心理士、相談支援専門員、相談員 等）	
研修の 内容等	<p>精神保健福祉及び関連領域で主に相談・援助業務に携わる支援者を対象として、支援に必要な知識・技術・視点などについて学ぶ機会を提供し、支援者の技術的水準の向上を図るために開催した。</p> <p>医療機関で強迫性障害の患者の治療や研究を続けてこられた精神科医から疾患における知識や治療方法等についての講義が行われた。</p>	
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・強迫性障害という疾患を非常にわかりやすく説明していただき、勉強になりました。 ・治療に関して臨床で応用できる面があり、理解が増しました。 ・あらためて疾患の理解が深まり、受講して本当によかったと思いました。 ・強迫性障害の患者さんと会う機会もあり、治療の難しさを感じていました。治療法についてお話を窺うことができ、参考にさせていただきたいと思いました。 ・強迫性障害はわかりづらい疾患だったので、今日の研修は具体的でとてもわかりやすく、大変参考になりました。ありがとうございました。 ・研修を通して、患者さんの強迫観念や強迫行為等の症状は様々であることがわかり、一人一人の症例を理解することが治療の第一歩になると思いました。 ・治療までのプロセスがわかりやすく、とても勉強になりました。医療機関で働いていますが、これをもとに実際の支援につなげることができればと思っています。 ・教育機関で相談業務に従事しており、強迫行為のあるお子さんの対応に苦慮していますが、今日は現場で役に立つ貴重なお話を聞くことができました。 	